

第145号

まつの社協だより

平成30年10月発行

編集・発行
社会福祉法人
松野町社会福祉協議会

〒798-2101
北宇和郡松野町大字松丸1661-13
TEL (0895) 42-0794
FAX (0895) 20-5311

子ども食堂
ひとりで食べるご飯と違う味がする😊

学習支援
算数や国語、社会、理科など幅広く活用できました

災害ボランティア支援
ボランティアさんの一生懸命な姿に
勇気と希望をもらいました

高齢者サロン
生活にはりができ健康になりました

車椅子の移動車両
乗り心地も良く使いやすくなりました

子育て支援
子育てへの気持ち❤️がガラリと変わった、利用してよかった

いのちの電話
話を聞いてもらって勇気が出た☀️

障がい者の就労支援
自分の仕事に誇りを持ち、自信となり、
日々の作業の励みになっています

赤い羽根共同募金
みんなの町を良くするしくみ

私たちも、
に助けられました。

十月から共同募金運動がはじまります！

みなさんの募金が、困っている誰かの「ありがとう」につながっている。
募金が「ありがとう」につながれば、それがまた新しい募金へと連鎖していく。
「募金」が一「ありがとう」になり「次の募金」へとつづく。
赤い羽根共同募金は、小さなことを(たくさん)しています。
そしてその活動は、たくさんの「ありがとう」につながっているのです。

あの人を、すべての人を、支えたい。

赤い羽根共同募金



活き活きシニア! 受賞おめでとうございます!

「のばそう!健康寿命、担おう!地域づくりを」というメインテーマのもと、第58回愛媛県老人クラブ大会が開催され、魅力あるクラブづくりを目指し、地域活動の推進や組織基盤強化への意識を高めました。

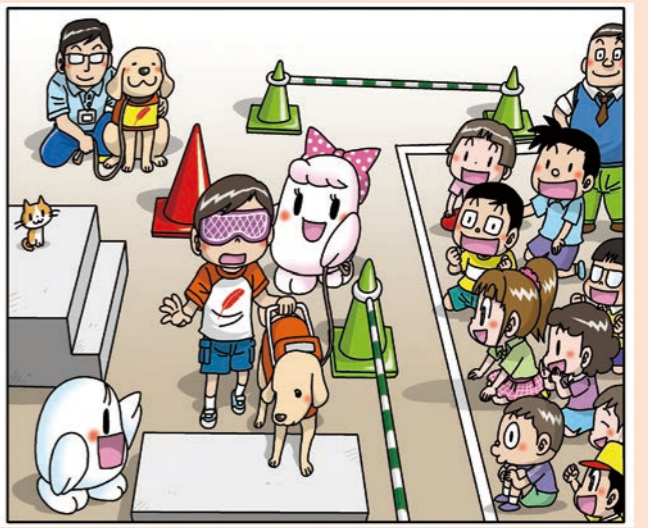
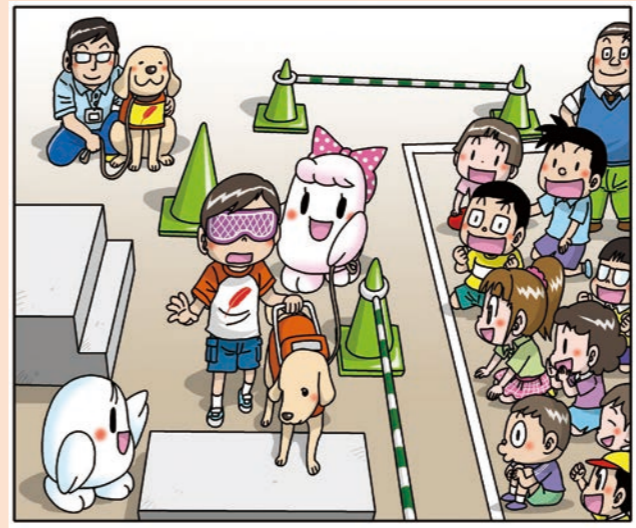
また、町内からは、優良介護者表彰に豊岡の古田口ヒデヲさんが受賞されました。



優良介護者表彰
古田口ヒデヲさん
(豊岡)

赤い羽根 まちがいさがし

下の左右の絵の中に、7つのまちがいがかくされています。
答えが分かった方は、はがきに①答え(7つの違うところ)②住所③氏名④電話番号を明記のうえ、下記のあて先までお送りください。
正解者の中から抽選で5名の方に、図書カードをプレゼントいたします!



★ 締切り：平成30年11月30日(金)当日消印有効
★ あて先：〒798-2101 松野町大字松丸1661-13
松野町社会福祉協議会 「赤い羽根まちがいさがし」係
※ 当選者の発表は、賞品の発送をもって代えさせていただきます。
※ 応募者の個人情報、賞品の送付作業のみに使用いたします。

災害ボランティアセンター ご協力へのお礼

松野町社会福祉協議会では、平成30年7月豪雨災害における支援として、平成30年7月12日(木)午前9時に、「松野町災害ボランティアセンター」を設置し、被災された皆さまの復旧・復興の支援を行ってまいりました。

開設中、町内外より延べ307名の方々にボランティアとしてお越しいただき、家屋の泥だし、家財や畳等の搬出等、依頼のありました101件の作業を完了することができました。

おかげをもちまして、7月26日(木)に災害ボランティアセンターとしての役割を終えることができました。

スムーズなボランティア活動ができましたのも、ひとえに皆さまからのご支援があったからであり、心より深く感謝申し上げます。

災害ボランティアセンターは、非日常に置かれた方々を支えていくひとつの手段として活動をしてまいりました。

これからも社会福祉協議会は、住民の皆さまに寄り添った支援に心がけてまいりたいと思っています。

ご支援いただきました皆さまに直接お礼を申し上げるべきところですが、失礼ながら誌面にてお礼に代えさせていただきますこととお許しいただきますとともに、今後ともお力添えを賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

「7月豪雨災害義援金」受付中

この災害により被災された方々を支援することを目的に、義援金の受付と募金箱の設置をいたします。お預かりした義援金は日本赤十字社および中央共同募金会を通じて、被災された方々に届けられます。

皆様のあたたかいご支援をよろしくお願いいたします。

受付期間

平成30年12月28日(金)まで

**義援金募金箱
設置場所**

役場・診療所・社会福祉協議会
ぽっぽ温泉

※ 詳しくは、社会福祉協議会(Tel 42-0794)へ

赤い羽根共同募金

集められた“やさしさ”が
松野の町をよくします



赤い羽根共同募金は、時代ごとの社会の困りごとを民間の立場から解決するために活動を続けてきました。

住民同士が助けあい、子どもから高齢者まで一人ひとりが安心感と生きがいを持って暮らせる地域づくりの取り組みは、今後ますます重要になります。共同募金への寄付金は、その取り組みに対しての貴重な財源となります。

本年も10月1日から全国一斉に募金運動がはじまります。

集まった募金の約7割は松野町の福祉のために、約3割は愛媛県内の広域的な活動や災害支援に使われます。つまり、**町のみんで集めた募金は、自分の町を良くする活動に使われている**のです。

平成29年度実施した「松野の町をよくする」ための活動を紹介します！

福祉学習

町内の小中学生・地域住民を対象に、福祉を身近に感じ、人と共に生きることを学ぶ福祉学習に取り組んでいます。



誰もが地域に住む一員として自分に何ができるのか、どうしたらみんなが幸せに暮らしていけるのかなど、体験を通して福祉の心を育みました。

ふれあい・いきいきサロン活動

町内には9つのサロンがあります。近所の集会所等に集まって、健康づくり・生きがいづくり・つながりづくりの活動をされています。参加者の心と体の健康づくり、ふれあいを大切にした地域づくりを支援するため、サロン活動の運営費を助成しています。



その他にも…

ボランティア活動への助成、公園等の遊具の安全点検、中学卒業記念品の図書カードを通して学習の支援、福祉学習に使用する教材の整備、介護予防のための備品の整備や災害時に使用する備品の整備、支援を必要とする世帯の把握と見守りなど、地域活動の財源として活用させていただきました。

地区福祉活動計画推進会

自分たちにとって身近な暮らしを豊かにするため、平成29年度に、地域福祉活動計画を住民の皆さんと社協と一緒に策定しました。町内各地区の活動計画推進を支援するため、活動費を助成しました。



10月から各地区の区長さん・組長さんを通じての募金や、職域募金、募金箱設置による募金も行っています。皆様方のご理解とご協力をお願いいたします。